

(別紙2)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年5月11日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970900142
法人名	有限会社 ワンカラ
事業所名	グループホーム 花みずき
所在地	〒788-0027 高知県宿毛市港南台2丁目9-25
自己評価作成日	平成22年1月16日
評価結果市町村受理日	平成22年7月1日

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成22年2月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3970900142&SCD=320>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

私たちは、ご利用者に、家庭的な当たり前の生活を提供し、ゆったりマイペースの生活を維持し、地域社会との関係を継続しながら、安心して暮らしていただくよう、日々のケアに取り組んでいます。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は新興住宅団地あり、散歩コースのマップを作成して、利用者が散歩した距離や時間を話題にしながら健康づくりや活動の励みになるよう支援している。また、地域との関係も大切にし、散歩時等に住民と会った際は挨拶を欠かさず、地域の清掃活動や運動会等に参加したり、老人クラブなど地域資源の把握など、地域の一員として日常的に交流し、溶け込むよう努めている。運営者（管理者）は、看護師の技術を活かす場として事業所を設立し、その熱い思いは職員にも伝わり、利用者本位のサービスが提供され、また、看取り対応の体制も整っており、利用者が安心して暮らせる事業所である。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	家庭的で地域と一体となった支援を目指す理念に沿って、利用者も職員も地域に溶け込み、暮らしていくことを目指して取り組んでいる。	地域密着型サービスを盛り込んだ事業所独自の理念がある。毎月の職員会で理念について振り返り、日々の実践につなげている。	
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	団地の自治会に加入し、行事に参加したり、散歩時に近隣の方たちにあいさつするなど、地域の一員として交流している。また、職場体験学習として中学生を2日間受け入れている。	自治会に加入し、地域の一斉清掃、草引き、地区運動会に参加している。散歩中に住民と挨拶を交わし、退居した利用者の家族も立ち寄ってくれるなど、地域との関係を築いている。また、中学校に手作り雑巾を贈るなどして交流している。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の高齢者の暮らしに役立つことがないか話し合い取り組んでいる。認知症の人と家族の会にも参加している。		
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回の評価結果から、会議の開催は偶数月の25日とし、計画に沿って実施している。	事業所から行事や利用者の状況、評価結果等について報告し、参加委員から提案や質問があるなど、双方向的な会議となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	看取り体制について相談し、病院との連携体制が確立するなど、指導やアドバイスをもらえる関係づくりに努めている。	市の担当者に事業所の運営等について気安く何でも相談できる関係を築いている。	
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修へ参加して知識を得、禁止となる行為を職員間で共有し、身体拘束のないケアを実践するよう心がけている。	職員全員が研修を受け拘束のないケアを理解している。身体拘束のリスクについても家族と話し合っている。また、外出傾向のある利用者にはさりげなく見守り支援をしており、徘徊のある利用者が長年畑仕事をした経験があることから草引きをしてもらうことで落ちついた事例もある。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会へ参加して知識を得、日々の介護の中で、言葉づかいや声かけ、態度など虐待へつながらないように取り組んでいる。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	成年後見制度の研修を受け、制度を理解している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要説明事項でホームの対応等を説明し、理解を得たうえで契約をしている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等が意見・不満・苦情を伝えることができるよう、機会を設け個々の家族に説明している。また、運営推進会議にも提案している。	家族の来訪時やお便りの送付時に意見や要望を聞くようにしている。家族会も発足し、家族同士の意見交換も行われているが、今のところ、事業所への意見は特に出されていない。	
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム会やカンファレンス等の話し合いの場で、職員の要望や意見を聞くようにしている。意見等にもとづき話し合い、運営につなげている。	職員会や申し送り時に職員の意見や提案を聞いている。職員からも気軽に意見が出され、利用者にも楽しんでもらえる行事を企画するなど、サービスの質の向上を目指し取り組んでいる。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務状況を把握し、働きやすい環境作りに配慮している。		
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	計画的に研修を受講するよう配慮している。また、伝達講習やOJTなどを通じて職員のスキルの向上を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>県内のグループホーム協会に加入している。幡多地区西部ブロックや宿毛市内のグループホーム連絡会にも参加し、互いに交流を図っている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人の気持ちを尊重しながら、快適な生活を送れるよう関係月づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の要望や気持ちを把握するため、じっくり話を聞き対応の説明をするなど、信頼関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>求めているサービス内容を確認し、状態に合わせて他のサービスを検討するなど、柔軟に対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		<b>○本人と共に過ごし支え合う関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食材の料理法や、昔ながらの生活の知恵などを職員に教えていただいたり、食事の下ごしらえを一緒にしている。		
19		<b>○本人と共に支え合う家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員が本人と家族との橋渡し、中間役となれるよう、情報交換したり、コミュニケーションをとっている。		
20	8	<b>○馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの美容院への送り迎えやお墓参りなど、馴染みの人や場と関係や交遊が保てるようになっています。	馴染みの美容院に行ったり、自宅訪問やスーパーへの買い物などに同行し、また、行き先で知人、友人に会うなど、馴染みの関係が途切れない支援をしている。	
21		<b>○利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同生活の場で、職員が間に入って仲介役になったり、利用者が孤立しないよう対応している。		
22		<b>○関係を断ち切らない取組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居しても、挨拶や相談に応じるなど、今までの関係性を大切にしよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話や表情、言動などから、本人の希望や気持ちを汲み取るようにしている。	利用者の言葉や態度から、その思いや意向を確認し、意思確認が困難な場合は表情などから推測したり、家族や関係者から情報を得るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの経歴や生活の状況を本人の思い出話を聞くなかで把握したり、家族から情報を得るなどしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ADLの状況を把握し、できないことよりできることに注目して支援するようにしている。また、体調変化の早期発見のため、バイタルチェックや栄養(食事)、水分、便秘などの把握をしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の意見を反映しながら、計画を立てているが、定期的な見直しが抜かっている。	利用者の状況や家族の意見等を反映した計画を立てているが、管理者が計画作成担当を兼ね、多忙なこともあって見直しの時期が過ぎている利用者が多い。	介護計画は利用者の現状に即して作成され、日々のサービス提供に反映されるものであり、管理者の計画作成業務の見直しや職員全員で取り組むことを検討することが求められる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	健康チェック表や日々の暮らしの様子を個別のファイルに記録し、職員間の情報の共有（勤務前の確認、連絡帳も利用）を徹底している。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	家族の事情（家族の病気、冠婚葬祭など）に応じて入院中や通院の介助など、出来る限り柔軟に支援するようにしている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	団地に発足した老人の元気クラブなど、新しい資源について地域包括支援センターから情報を聞いたり、支援につながる検討もしている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	基本的に利用者、家族の希望するかかりつけ医で受診できるようにしている。医療の確保や重度化への対応など、主治医との連携を大切にしている。	従来からのかかりつけ医への受診支援を行っている。通院介助は基本的に家族の対応としており、受診結果については家族から連絡してもらい、事業所内で共有できている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日の健康チェックや入浴時の全身観察、利用者の訴え、表現などから気づいたことは欠かさず看護職員に報告、相談している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	利用者のサマリーを提供し、スムーズに連携ができています。また、医療機関との研修会に参加し、関係者との連携を深めています。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りの指針を家族等に説明し、延命治療の是非など意向を確認するとともに、段階的に繰り返し話し合いをするようにしている。また、状態変化に応じて、主治医や看護師を交えて方針を共有するようにしている。	看取りに関する指針を利用者や家族に説明している。これまでに看取りの事例もあり、利用者、家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携しながら取り組む体制ができている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力で、救急手当や蘇生法などを学び、対応出来るようにしている。緊急連絡先も貼り出している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルに沿って、消防署の協力のもと利用者と一緒に避難訓練や消火器の使用法の訓練をしている。	消防署の協力を得て、年2回の避難訓練を行っているが、地域住民の参加、協力は得られていない。非常用の食料等の準備は出来ている。	災害時には地域住民の協力が不可欠であり、地域の防災組織の状況把握とともに、運営推進会議での検討など、災害対策の取り組みを高めるよう期待したい。
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<b>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</b> 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	外部へ利用者のプライバシーを漏らさないよう職員に徹底している。また、トイレ誘導時など、利用者の誇りを傷つけないよう、声かけに注意している。	トイレの誘導や日々のケアの中で声かけについて、利用者の誇りやプライバシーを損なわないよう、職員同士で注意し合っている。	
37		<b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いに沿って散歩や買物、楽しみ事の支援をしているが、今後、本人の得意なことや複数の選択肢を働きかけて自己決定する場面づくりに努めていく。		
38		<b>○日々のその人らしい暮らし</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の体調や気分に合わせて、食事や休息、運動の支援を行っている。		
39		<b>○身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の着がえを声かけし、利用者や衣類を選んだり、馴染みの美容室でカットやパーマをかけるなど、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<b>○食事を楽しむことのできる支援</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえや調理法を教わりながら作ったり、配・下膳片付けなど一緒に行い、食事も楽しく会話しながらとっている。	食事の準備や後片付けは利用者の能力が発揮できる場でもあり、野菜の下ごしらえ、配膳、下膳など、本人が出来る事を行っている。職員も一緒に会話を楽しみながら食事をしている。	
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員も一緒に食べる事で摂取量も分かりやすく料理に旬のものを多く使う事で季節を楽しんでもらっている。水分のチェックも行い、少ない場合はその都度、水分を摂ってもらうよう心がけている。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、歯みがきの声かけを行い、介助が必要な方には職員が行っている。就寝前には義歯を預かり洗浄している。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者の排泄パターンを把握し、時間を見てトイレ誘導の声かけにより、リハビリパンツから布パンツに戻ることが出来た方もいる。	利用者の排泄パターンを把握し、自立に向けた支援を行っており、布パンツに改善できた事例もある。夜間も出来るだけ紙パンツやパットを使用しないように心掛け、トイレ誘導による支援を行っている。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩や体操などで体を動かしたり、適度に水分を摂取するなどして、便秘予防に取り組んでいる。4日以上排便がない利用者は便秘薬を服用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>毎日、入浴できるようにしている。順番も自由で湯舟にも、ゆっくりつかっていただいている。夜間にも利用出来るようになってきている。</p>	<p>ほとんどの利用者が毎日入浴できることを楽しみにしており、夕食前までに入浴している。希望があれば夜間の入浴も対応出来る態勢を整えている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>昼寝も自由に居室にて出来、夜間寝付きの悪い方には温かいお茶を出したり話しをし、精神の安定を心がけ、安心して休んでいただけるようしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>職員が、一人ひとりの処方箋をいつでも見られるようになっており、副作用の把握もしながら支援しており、気にかかる事があれば、直ぐに管理者へ報告している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日々の会話から個々の好きな事や楽しみを理解し、食事の下ごしらえ（皮むきやササガキ）や味見をしてもらっている。家庭菜園を行い、草引きをしてもらったり、収穫してもらっている。外出を毎月計画し、気分転換を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>雨の日や猛暑以外には、体調に合わせて散歩に行き、季節を感じてもらっている。買い物や花見、ドライブにも行っている。</p>	<p>住宅地図に距離を記入した散歩マップを作成し、利用者の日常的な散歩の楽しみや励みにしている。また、行事としてドライブに出かけることも多く、特に隣の県にある温泉へ行く事を楽しみにしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>好きなおやつを買ったり、みかん狩りに行ってみかんを買う場合に、利用者自身で支払い、見守りと確認をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>日常的にいつでも電話をかけることができるようにしている。送り物が届いた時は、必ずお礼の電話を入れるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を出す為、花を飾る事を心がけている。目で見て楽しんでもらい、花の香も楽しんでいただけるよう、会話にもとり入れるようにしている。</p>	<p>居間には、菊の花や観葉植物を置き、壁には行事に参加時の利用者の笑顔に満ちた写真が貼られ、また、年賀の書き初めや和風を飾るなど、季節感を採り入れ、利用者が和やかに過ごせる雰囲気づくりに工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールのソファは楽しい会話がはずむ場所になっており、利用者同士が誘い合って空席をつくらぬよう隣り合わせで談笑する場面が多くみられる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族と相談しながら利用者が必要とする物を置いている。家族からの贈り物や家族写真、位牌を置いている部屋もある。</p>	<p>ダンス、テレビ、姫鏡台、位牌、仏壇、家族写真など、馴染みの物を持ち込み、利用者がこれまでの家庭での暮らしと同じように、安心して過ごせるよう支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全を第一に考えて危険のないよう取り組んでいる。利用者が不安にならないよう、わからないことを把握し、自然に誘導出来るよう試みをしている。状態が変わるとカンファレンスを行って新たに対応している。</p>		

V アウトカム項目			
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない